

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年8月12日(2021.8.12)

【公開番号】特開2020-26453(P2020-26453A)

【公開日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2020-007

【出願番号】特願2018-150697(P2018-150697)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/38 (2014.01)

C 0 9 D 11/322 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/38

C 0 9 D 11/322

B 4 1 M 5/00 1 2 0

B 4 1 M 5/00 1 3 2

B 4 1 M 5/00 1 0 0

B 4 1 M 5/00 1 1 2

B 4 1 J 2/01 5 0 1

B 4 1 J 2/01 1 2 5

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月30日(2021.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カルボジイミド化合物、顔料、ビニルポリマー、及び水を含有するインクジェット記録用水系インクであって、

ビニルポリマーが酸価70mgKOH/g以下のカルボキシ基を有するポリマーであり、
ビニルポリマーが架橋されてなるポリマーであり、

顔料が顔料を含有するポリマー粒子の形態である、インクジェット記録用水系インク。

【請求項2】

ビニルポリマーの含有量が0.5質量%以上15質量%以下である、請求項1に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項3】

ビニルポリマーに対するカルボジイミド化合物の質量比(カルボジイミド化合物/ビニルポリマー)が、0.01以上1.0以下である、請求項1又は2に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項4】

ビニルポリマーが、イオン性モノマー由来の構成単位と疎水性モノマー由来の構成単位を含有する、請求項1～3のいずれかに記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項5】

疎水性モノマーが、アルキル(メタ)アクリレート、芳香族基含有モノマー、及びマクロモノマーから選ばれる1種以上を含有する、請求項4に記載のインクジェット記録用水

系インク。

【請求項 6】

ビニルポリマーが、更に親水性ノニオン性モノマー由来の構成単位を含有する、請求項4又は5に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 7】

ビニルポリマーが、多官能エポキシ化合物で架橋されてなる、請求項1～6のいずれかに記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 8】

多官能エポキシ化合物が、水不溶性多官能エポキシ化合物である、請求項7に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 9】

カルボジイミド化合物及び水を含有する水性組成物と、顔料及びビニルポリマーを含有する水系インクとを含む、インクジェット記録用インクセットであって、

、ビニルポリマーが酸価70mgKOH/g以下のカルボキシ基を有するポリマーであり、ビニルポリマーが架橋されてなるポリマーであり、

顔料が顔料を含有するポリマー粒子の形態である、インクジェット記録用インクセット。

【請求項 10】

水系インクの色相が2種以上である、請求項9に記載のインクジェット記録用インクセット。

【請求項 11】

下記工程1及び工程2を有する、インクジェット記録方法。

工程1：カルボジイミド化合物、顔料、ビニルポリマー、及び水を、記録媒体表面にインクジェット方式により吐出させ、記録画像を得る工程

ここで、ビニルポリマーは、酸価70mgKOH/g以下のカルボキシ基を有するポリマーであり、ビニルポリマーは架橋されてなるポリマーであり、

顔料は顔料を含有するポリマー粒子の形態である。

工程2：工程1で得られた記録画像を50以上200以下の温度で加熱処理する工程